



2020年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年12月13日

上場会社名 株式会社クロスフォー 上場取引所 東
 コード番号 7810 URL <https://crossfor.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土橋 秀位
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 米光 信彦 (TEL) 057-008-9640
 四半期報告書提出予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第1四半期の連結業績(2019年8月1日~2019年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第1四半期	791	△19.5	47	△53.1	45	△56.9	31	△48.9
2019年7月期第1四半期	983	△6.8	102	—	105	—	61	—

(注) 包括利益 2020年7月期第1四半期 34百万円(△44.1%) 2019年7月期第1四半期 62百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第1四半期	1.89	1.88
2019年7月期第1四半期	3.69	3.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第1四半期	5,199	2,622	49.7
2019年7月期	5,277	2,588	48.4

(参考) 自己資本 2020年7月期第1四半期 2,586百万円 2019年7月期 2,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	0.30	0.30
2020年7月期	—	—	—	—	—
2020年7月期(予想)	—	0.00	—	1.60	1.60

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年7月期の連結業績予想(2019年8月1日~2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	10.2	200	224.1	180	261.6	126	821.4	7.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期1Q	17,522,000株	2019年7月期	17,522,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期1Q	798,081株	2019年7月期	798,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期1Q	16,723,919株	2019年7月期1Q	16,719,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いております。一方で世界経済は、米中を中心とする通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等による不確実性など、先行きの不透明感が一層強まっている状況にあります。

ジュエリー業界におきましては、近年で盛り上がりを見せていたインバウンド消費も落ち着き、本年10月からの消費税率引上げ前の駆け込み需要はあったものの、その反動減や台風19号等の相次ぐ自然災害の影響により、消費者の節約志向は以前よりも強くなっており収益環境は厳しいものとなりました。しかしながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおけるインバウンド需要や国内需要の喚起などが期待されることから、国内ジュエリー市場は比較的堅調に推移するものと考えております。また、国外ジュエリー市場についても、インド、東南アジア、アフリカを中心とする中間所得層の拡大から購買力が向上し、2022年には48兆円の市場へ成長する予測であります。(※1)

このような状況の中、当社グループは「Dancing Stone」(※2)を中心にクリスマスや年末需要の獲得に向けてブランド価値の向上と浸透に努めました。具体的には新ブランド『mute』を投入、新規顧客層の開拓を図り、販売促進については雑誌媒体を通じた広告や得意先にクロスフォーニュースの配信を開始するなど、新機軸の取組みを開始しております。また、在庫適正化の観点から従来の委託販売方法を見直し、委託製品の選定、店頭における販売支援策の拡充を進めました。一方、新製品である「EZ Clasp」(※3)や「テニスブレスレット」は、下期からの本格的な販売開始に向けて、大量受注に対応できる生産体制を整えつつあります。さらに当第1四半期連結累計期間中に日本精密株式会社と業務提携契約を締結し、共同開発製品「ブリリアントブレス」の販売に向けて、開発や生産準備を進めております。国外においては、今後の市場規模拡大に備え、新規エリアでの取引先開拓に注力し、まだ「Dancing Stone」を紹介していない中東エリアを中心に営業活動を行いました。さらに「EZ Clasp」(※3)や「テニスブレスレット」を海外大手小売チェーンに紹介するなどの営業活動を行っております。

こうした活動を行ってまいりましたが、国内は、「Dancing Stone」製品について得意先の買い控えによる減収をカバーすることができず、485百万円となりました。一方、国外については、世界情勢の影響により、各国で開催された展示会の集客が落ち込んだことによる減収を、海外大手宝飾ブランドからの安定的な受注によりカバーし、306百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7億91百万円(前年同四半期19.5%減)、同営業利益は、販売管理費および滞留在庫の削減に取り組んだ結果、47百万円(前年同四半期53.1%減)、同経常利益は45百万円(前年同四半期56.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円(前年同四半期48.9%減)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

※1 TechSci Research「Global gems and jewelry Market, Competition, Forecast and Opportunities, 2012-2022」より引用。

※2 「Dancing Stone」とは、当社の特許技術により宝石に穴をあけることなく、宝石を揺らすことができる宝石のセッティング方法であります。

※3 「EZ Clasp」とは、チェーンやブレスレット向けの片手で簡単に脱着可能なダブル式の留め金具であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ78百万円減少し、51億99百万円となりました。これは主に、仕掛品が60百万円増加、原材料及び貯蔵品が75百万円増加し、現金及び預金が2億17百万円減少、商品及び製品が6百万円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億12百万円減少し、25億76百万円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)が1億70百万円減少し、支払手形及び買掛金が55百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、26億22百万円となりました。これは主に、利益の計上により31百万円、新株予約権の計上により4百万円増加し、剰余金の配当を5百万円行ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年9月13日の「2019年7月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,998	493,697
受取手形及び売掛金	545,294	567,075
商品及び製品	1,402,059	1,396,034
仕掛品	194,652	254,820
原材料及び貯蔵品	629,849	705,402
その他	50,128	59,994
貸倒引当金	△57,396	△73,713
流動資産合計	3,475,586	3,403,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,048,892	1,039,744
土地	331,347	331,347
建設仮勘定	14,791	23,453
その他(純額)	157,633	160,217
有形固定資産合計	1,552,664	1,554,763
無形固定資産	85,086	78,416
投資その他の資産		
その他	171,383	170,152
貸倒引当金	△6,810	△7,292
投資その他の資産合計	164,572	162,859
固定資産合計	1,802,323	1,796,039
資産合計	5,277,910	5,199,352

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,520	134,350
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	574,752	528,211
未払法人税等	12,959	16,076
賞与引当金	—	10,950
その他	86,109	73,859
流動負債合計	1,252,342	1,263,448
固定負債		
長期借入金	1,435,718	1,312,174
その他	1,372	1,201
固定負債合計	1,437,091	1,313,376
負債合計	2,689,433	2,576,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	683,400	683,400
資本剰余金	777,066	777,066
利益剰余金	1,121,067	1,147,587
自己株式	△20,378	△20,378
株主資本合計	2,561,156	2,587,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△2
為替換算調整勘定	△4,276	△1,045
その他の包括利益累計額合計	△4,293	△1,047
新株予約権	31,614	35,899
純資産合計	2,588,476	2,622,527
負債純資産合計	5,277,910	5,199,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2019年10月31日)
売上高	983,455	791,554
売上原価	518,722	406,590
売上総利益	464,733	384,963
販売費及び一般管理費	362,607	337,114
営業利益	102,125	47,849
営業外収益		
為替差益	5,344	—
受取賃貸料	1,478	1,478
補助金収入	—	585
その他	1,188	373
営業外収益合計	8,012	2,438
営業外費用		
支払利息	3,206	3,067
為替差損	—	514
コミットメントフィー	1,145	765
その他	583	628
営業外費用合計	4,935	4,976
経常利益	105,201	45,311
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	105,201	45,311
法人税、住民税及び事業税	44,061	12,722
法人税等調整額	△589	1,052
法人税等合計	43,472	13,774
四半期純利益	61,729	31,536
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,729	31,536

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2019年10月31日)
四半期純利益	61,729	31,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	15
為替換算調整勘定	435	3,230
その他の包括利益合計	445	3,246
四半期包括利益	62,175	34,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,175	34,782
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ジュエリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。